



学校教育目標 **にこにこ笑顔・どきどき挑戦・どんどん響き合う 傍陽の子**

児童の実態

- ・健康的な生活をしている児童が多く、欠席が少ない。体を動かす活動や遊び体験には不十分な面がある。
- ・友と関わる学びに成果が出てきている。一方で、受け身の傾向もある。
- ・学習にまじめに取り組み、学力を身に着けている。表現力や思考力には課題がある。

学校の願い

- ◇基礎学力定着、意欲・思考・表現力の向上
- ◇明るい挨拶、思いやり・温かい声かけ
- ◇心身のバランス良い成長と体力の向上
- ◇ふるさと傍陽への思い・誇り

保護者・地域の願い

- ・基礎力、学習意欲の向上。健やかな心身の成長と体力の向上。
- ・誰にでも挨拶ができ、優しい心をもてる。
- ・主体的に行動し、自分の思いを表現できる。
- ・傍陽を誇りに思う気持ち。

<p>にこにこ笑顔 【健やかな心と体】</p> <p>① 自他の命を大切に、よりよく伸びようとする子ども</p> <p>② 体を動かし学び、遊んで元気な体をつくる子ども</p>	<p>どきどき挑戦 【確かな学び】</p> <p>① 学ぶ力・体力が向上する子ども</p> <p>② 考えを持って話し合い深める子ども</p> <p>③ 自ら考え判断して表現できる子ども</p>	<p>どんどん響き合う 【豊かな心】</p> <p>① 明るい挨拶ができ、友達を思いやり、協力し合える子ども</p> <p>② 自他の成長を意識して、共に伸びる喜びを実感する子ども</p>
---	--	---

〔本年度の重点〕 **自分の“ことば”で伝え合おう**

〔重点目標〕

<p>1 太陽のような 明るいあいさつ</p>	<p>2 歌声のあふれる学校</p>	<p>3 楽しさを味わう 本気の取り組み</p>
------------------------------------	---------------------------	-------------------------------------

〔重点目標の具現に向けて〕

<p>① 職員が率先して声をかける。児童会や学級活動の挨拶運動を支援する。</p> <p>② 「はい」の返事、「ありがとう」等の言葉を伝え合い、自発的なコミュニケーションに結び付く指導を行う。</p> <p>③ 学校支援ボランティア、地域との交流を実践の場として大切にする。</p>	<p>① 元気な歌声を学校の宝として自覚し、音楽を通して心の解放を図っていく。</p> <p>② 全校・学級で、一つのものを作り上げる達成感を味わいながら、学校文化を作り上げていく。</p> <p>③ 音楽をはじめ、作文や詩・工作・運動等の表現、児童会や係の仕事等も全て人をつなぐ力があり、自分を輝かせる手段でもあることが実感できるよう支援する。</p>	<p>① 「わかった」「できた」喜びが自信となり意欲的に学習に向かえるよう、UD化を含めた授業改善を進める。</p> <p>② 夢中で遊び込むことで、健康な心身と心が通う人間関係をつくり出す。</p> <p>③ 認め合い、支え合い、励まし合う関係づくりを学習や活動の礎として、人権同和教育の視点に立った指導を大切にしていける。</p>
---	---	---

地域と歩む学校～信州型CS 傍陽の子どもを育む会

- ・地域の方々の学校支援ボランティアへの参加の奨励。
- ・クラブ支援、行事等への参加、参観と協力の呼びかけ。
- ・積極的な情報発信（ホームページ等）。

施設、自然・歴史、文化的環境、人的環境

- ・傍陽の自然・歴史、文化、人に触れる学習。
- ・異学年交流：人間関係の広がり。・感染症対策
- ・タブレットPC・実物投影機等、ICTの有効活用。

授業改善への取り組み

- ・新たな学習指導要領のもと、信州型UD（授業がよくなる3観点等）で、深い学びにつながる学習活動のある授業設計を行う。
- ・授業のUD、学習の個別化、「新たな生活様式」の元での学びを念頭に、授業改善・学習環境の整備を進める。ICT教育（タブレットPC）活用。
- ・NRT、全国学力・学習状況調査等、諸検査の結果を分析し、子どものつまずきを明らかにし職員間で共有して、具体的な手立てを講ずる。
- ・インクルーシブ教育、人権同和教育の研究を深める。

家庭学習の充実

- ・「家庭学習の手引き」により、宿題、内容、時間、見とどけについて検討し、家庭と連携を図る。
- ・授業との関連性・発展性があり、発達段階に応じた意欲が高まる内容の家庭学習にする。
- ・生活学習ノート「紡ぐ（つむぐ）」を活用し、家庭学習の習慣化を図る。